



東京神学大学

TOKYO UNION THEOLOGICAL SEMINARY

学校案内 2026



STUDENTS

神様の本気に、私たちも本気で応える。

こうじろ まさみ
学長 神代 真砂実

植村正久(1858~1925)という人がいました。一言で紹介するのは難しいですが、日本の初期のプロテスタント教会を代表する伝道者です。その植村が洗礼の試問のときにした質問についての話の一つに次のようなものがあるそうです。

このとき試問に臨んだ人は少々変わった経歴の持ち主で、かつては神主であったのでした。この人に対する試問にあたり、植村は一つだけ、「君は、神主だったときに、本気で太鼓を叩きましたか」と尋ねたそうです。その人は、すぐに「私は本気で太鼓を叩いていました」と答えたのですが、そうすると植村は、それならよしいということで、洗礼を授けることにしたといいます。

求道生活もよく見ていたので、この問い一つだけで済んだのでしょうか、つまるところ確かめたかったのが、その人の「本気」、言い換えれば、誠実さ・忠実さであったというのには考えさせられます。私たちは信仰を通して神様の恵みをいただくのであり、そのことに間違いはないのですが、その信仰には本気が伴うのです。神様に対して忠実に生きようとするのです。それは全てのキリスト者に当て嵌まることですが、その延長線上に伝道者としての献身があるとと言えるでしょう。

どうして、私たちの信仰には本気が伴うのでしょうか。——それは私たち人間を救おうとされる神様が本気だからです。独り子を惜しまないほどの本気をもって私たちににかかわってくださる神様なのですから、神様の本気には私たちも本気で応える以外にないでしょう。そして、自分の本気を献身というかたちで表したいという思いが、そこから出てくるでしょう。そういう皆さんの本気を受け止められる場所が東京神学大学です。



INDEX

学長メッセージ	P.01
卒業生インタビュー	P.03
学生の1日	P.05
東京神学大学の特徴	P.07
東京神学大学の学び	P.09
教員紹介	P.11
キャンパスライフ	P.13
キャンパスカレンダー	P.15
キャンパスマップ	P.16
奨学金制度	P.17
データで見る東神大	P.18

GRADUATE

卒業生インタビュー

泉町教会(群馬県桐生市)

佐藤 泉

1998年東京神学大学大学院修了
1998年より日本基督教団泉町教会主任牧師
2001年より東京聖書学校非常勤講師
2004年より東京神学大学非常勤講師(アラム語・シリア語)

Q1. 牧師を志したきっかけは何ですか。

母のお腹の中にいるときから教会に通っていて、引越しのため通うことになった教会では祈りの課題の一つに献身者を生み出すことを掲げていました。その祈りに応えるように幼馴染が献身したことや、祖父が召され、限りある命をどのように用いていくのかと問われたことも、きっかけと言えるかもしれません。でも、最終的にはエレミヤ書1章5節の御言葉でした。自分の誕生以前に神様の御計画があったことに衝撃を受け、それが私に向けられた神様の召しの御声なのだと思え止めるよう導かれました。

Q2. 現在は、どのようなお働きをなさっていますか。

教会では、礼拝を中心に教会の御用に励んでいます。祈祷会もありますし、役員会があれば牧師が議長になりますから、そのような準備や事務的なことも担います。

現在、日本基督教団ホーリネスの群の執行委員を担っているため、会議に出席したり、機関紙の編集等をしたりすることもあります。

また、2つの神学校での非常勤講師としての御用を与えられていて、いつの間にか20年以上が経過しました。

古い言語を学び、聖書を深く読むことは、教会にお仕えするときにも生きています。

Q3. 牧師としての喜びを教えてください。

受洗者が生み出され、洗礼式に関われることは、大きな喜びです。でも、教会に連なる方が日常の礼拝を大切にしている、共に礼拝を捧げること自体、とても大きな喜びです。コロナ禍に緊急事態宣言が発令された際には、家庭礼拝にせざるを得ませんでした。宣言解除後の最初の礼拝では、それ以前よりも多くの方が教会においでになり、皆さんが礼拝を大事に、また喜びにしているのだと感じました。そのことは、私自身の大きな喜びにつながっています。

Q4. 東京神学大学での学びを振り返って、いかがですか。

「入学したら、聖書を原典で読みたい」という思いがあったので、ギリシャ語をはじめ、ヘブライ語、アラム語、シリア語、アッカド語と、古い言語を学び、原典講読の授業は片っ端から取っていました。目の前の課題を片付けることに必死で、十分に理解できていなかったこともあるかもしれませんが、学んだ事実そのものが財産になっています。

Q5. 非常勤講師としての働きは、いかがですか。

講師としての経験は私にとって本当に幸いなことです。「教えるは学ぶの半ば」という言葉のとおり、教えることは半分、もしかしたらそれ以上が自分の学びになっています。牧師として教会にお仕えするとき、説教が大きな御用になります。説教をするには、聖書に向き合わなくてはなりません。聖書の日本語訳を原典や古代訳と比較することは、聖書を深く読むことにつながります。学生と学んでいることの積み重ねは、最終的には教会での働きに生きています。思いがけず与えられた働きでしたが、幸いなことだったと感じています。

Q6. アラム語やシリア語を学ぶ意義について教えてください。

アラム語はイエス様が話しておられた言語だと言われていて、それが派生してシリア語になりました。アラム語やシリア語を学び、聖書の原典を比較できるようになることで、視野が広がり、聖書の読み方も深まります。聖書ソフトのようなツールを活用する場合でも、アルファベットや母音記号の理解は不可欠です。最低限の知識を身につけるためにも、ぜひ学んでみてほしいです。

Q1. 教務教師を志したきっかけは何ですか。

教務教師を「志した」ことはありません。牧師として遣わされた場所がキリスト教学校でした。東京神学大学を卒業後、はじめは経堂北教会に派遣されました。伝道師として3年間の伝道牧会を経て正教師となり、次に鎌倉雪ノ下教会へと遣わされました。その歩みの中で聖書科教諭が不在となる明治学院高校で仕えることになり、そこからさらに現在では、東洋英和女学院中高部聖書科の専任教諭として仕えています。すべてが主の導きであって、どこに遣わされるにしても、祈りのうちに呼びかけに応える決断をしました。

Q2. 東京神学大学での学びを振り返って、いかがですか。

今でも神学を学ぶときのベースになっています。集中して神学ができたことは、幸せな時間だったと振り返っています。本当の意味で「聖書を読む」「御言葉を語る」ということを学んだと思います。あと、そのときは全力でやっていたかもしれませんが、振り返れば、もっと神学書を読めたのではないかと、勉強できたのではないかと感じます。今は本当に時間がないので、そう感じます。他にも神学生としての教会生活も大事でした。特に寮生でもあったので、寮での仲間は今も一緒に伝道する同労者でもあります。人と関わるのが苦手な人もいるかもしれませんが、伝道する相手は良くも悪くも人間なので、交わりとしてのコイノニアも大切にすべきであると、今さらのように思います。

Q3. 現在は、どのようなお働きをなさっていますか。

牧師として学校に仕えている感覚です。学校でのお働きでは、朝6時には学校に到着してチャペルでの祈りから一日が始まります。聖書の授業や朝の礼拝、学校のキリスト教関連の行事や企画、生徒の委員会やYWCAの顧問、課題を抱える生徒や教員の話聞いて祈ることも度々です。学校では授業をするだけではなく、他教科の先生と同じようにクラス担任をすることもあり、学校の先生の職務を担いつつ、聖書や教会、宗教の専門家としての知識や幅広いネットワークも求められます。また近隣の教会で主の日の礼拝説教を任されることもあります。そして現在は、教務教師だからこそできる開拓伝道のヴィジョンが与えられ、日々祈りながら伝道所設立の準備をしています。

Q4. 牧師としての喜びを感じるのは、どんなときですか。

生徒が「洗礼を受けます」と、研究室に報告して来るときが一番嬉しいです。他にも生徒が通う教会の方が、生徒が毎週通っている、喜んで奉仕してくれているとか、そういう話を聞くのは嬉しいです。ある生徒が高校1年生の終わりに受洗しました。実に過酷な状況で主イエスを信じて、洗礼へと導かれました。彼女が高3の修養会で礼拝のメッセージをしたとき、自分が洗礼を受けるきっかけなど、いわゆる証として奨励をしたのですが、本当に涙が溢れました。主への深い感謝と喜びで満たされました。神様からのご褒美というか、大変なことたくさんあるけど、もう少しここで真剣に伝えようと思えた瞬間でした。

東洋英和女学院中学部・高等部

上野 峻一

2014年東京神学大学大学院修了
2022年より東洋英和女学院中学部・高等部教務教師

生徒が「洗礼を受けます」と、報告に来るときが一番嬉しい。



MODEL CASE

寮生

信仰がこんなに豊かなものだという経験

2026年度 博士課程前期課程 1年 多田 麻矢



Q1 東京神学大学を選んだ理由は何ですか？

以前はキリスト教学校で働いていました。福音を伝えることの厳しさに直面する一方で、友人との関係の深まりを経て福音を自分に与えられているものかもしれないと心動く10代の姿も目の当たりにしました。そのうち、神学から教育を考えたい、それはキリスト教学校だけではなく教会にも大きな力になるのではないかという志が与えられました。

このような理由で東神大で学んでいいのか不安もありましたが、東神大の先生方から励まされて御心なら学びの道が拓かれると信じ入学への思いが与えられました。

Q2 学生寮を選んだ理由は何ですか？

正直、経済的理由と学校からの近さが一番の理由でした。ですが、同時に召命共同体という言葉に大きく惹かれました。信仰理解も生活パターンも様々な背景をもった人との生活は悩むこともありますが、生活においても学びにおいても信仰においても助け合える友が与えられていることは心強いです。

何より寮で共に御言葉を聞き、語る機会も与えられていることは寮ならではの恵みです。東神大の寮は神学が机上の空論で終わることなく、実際に神学するということを体験できる場です。

Q3 東京神学大学の魅力は何ですか？

多岐にわたる神学の学びは私自身の信仰を豊かにしてくれ、同時に教会に仕えるとはどういうことか悩みも与えてくれます。その悩みは快いものです。

日本基督教団だけではなく他教団、他教派の学生も在籍しており信仰がこんなに豊かなものだとことを経験しています。そのような友人と聖書や教会や信仰について語り合う時間も与えられ、キリストにある交わりに感謝しています。

図書館も充実していて、2000年以上にわたって世界で展開されている神学の奥深さを肌で感じることができます。日本語だけではなくいろんな言葉で書かれたものが並んでいて、背表紙を見るだけでも楽しいです。

1日の過ごし方

寮礼拝から寮生の一日が始まります。

- 6:45 起床
- 7:15 寮礼拝
- 7:50 支度
- 8:30 授業
- 10:05 学内礼拝
- 10:30 授業
- 12:00 昼休み
- 12:50 授業
- 17:20 教会へ移動・夕食
- 19:00 祈祷会
- 21:00 帰宅
- 23:00 就寝

教員と大学院生が交代で説教を担います。

授業のないときは図書館で勉強します。

教会の皆さんと祈りを合わせる恵みのときです。

通学生

主の導きにすべてをゆだねて

2026年度 神学部神学科 4年 吉本 有美



Q1 東京神学大学を選んだ理由は何ですか？

卒業生である夫と義母を見て、東京神学大学に対する絶大な信頼がありました。また、入学前2年間の公開夜間神学講座で先生方の熱い講義に魅了され、福音という「よき知らせ」を学ぶ神学は、私にとって心躍る喜びの学問となりました。伝統を築いてこられた多くの信仰者と共に大学で、より広く深く学びたいと思い、何よりも神様が導いてくださった招きに、すべてを委ねてこの学び舎に身を置くに至りました。

Q2 どのように通学していますか？

電車とバスを乗り継ぎ、片道1時間をかけて通学しています。この移動時間は私にとって大切な「読書室」、集中して課題図書に没頭できる、ありがたいひとときです。

Q3 東京神学大学の魅力は何ですか？

何といっても神学の四分野(聖書・組織・歴史・実践)を学ぶことのできる喜びです。公開夜間神学講座で触れたその奥深さは、今も私の原動力です。日々、家庭の役割もしつつ、中高の教員免許取得という新たな目標にも挑戦しています。世代を超えた仲間がそれぞれの生活を抱えながら、共に励まし合って学んでいます。驚いたことは、それぞれの教派や立場を超えた信頼関係です。先生方は常に学生に寄り添い、教職員の方々のあたたかな配慮、学生同士の細やかな支え合いがあります。全国の諸教会から届く祈りの力も大きな励みです。日常のすべてに神様の恵みがあり、主の御手の中で共に成長できる唯一無二の学び舎です。

公開夜間神学講座

公開夜間神学講座は、80年間続く、信徒の方々を対象とした神学の学びの場です。聖書神学や組織神学だけでなく、キリスト教音楽や美術、カウンセリングなど、様々な角度から聖書について、神について学ぶことができます。

詳しくはコチラ！



1日の過ごし方

- 5:30 起床
- 8:10 登校
- 8:30 授業
- 10:05 学内礼拝
- 10:30 授業
- 12:00 昼休み
- 12:50 授業
- 18:00 下校
- 19:00 帰宅
- 20:00 課題
- 21:00 夕食
- 0:00 就寝

少人数なので、質問しやすいです。

一日で一番の楽しみ♪ 恵み溢れる大切な時間です。

学年を超えた仲間とのランチ。おしゃべりから元気をもらえます。



01 | 伝道者養成のための召命共同体

東京神学大学は、キリスト教の伝道者を養成する神学専門の単科大学です。教会・キリスト教学校・キリスト教関係の施設(病院等)で牧師・教師・チャプレンとして働く伝道者を育成することを使命としています。そのために、東京神学大学は、学部から大学院の博士課程前期課程までの一貫した神学教育プログラムを提供しています。東京神学大学は「召命共同体」として、教員も学生も神の呼び出しに応えるために、常に自らの召命を神の前に問いつつ、授業と研究はもちろん、毎日の礼拝やクラスごとの祈禱会を通して、生きた神学の研鑽に励んでいます。



02 | 教会と東京神学大学は車の両輪

東京神学大学は、日本のプロテスタント諸教会の良き神学教育の伝統を引き継ぐ大学として、多くの教会によって支えられています。例えば、神学生が必要とする経費のうち、およそ半分は全国の諸教会およびそこに属する信徒の方々からの献金によるものです。このような意味で、東京神学大学は教会による、教会のための大学です。それゆえ、神学生にとって教会生活は大学での学びと並んで重要です。神学生はそれぞれの教会に属しながら、牧師の指導のもと教会に仕えることを学びます。東京神学大学と教会はいわば「車の両輪」として共に協力しながら、伝道者の育成に努めています。



FEATURES

東京神学大学の特徴

03 | キリスト教学校の伝道者を育成

現在日本では、毎年のべ50万人ほどの子どもたち・学生たちがキリスト教学校を卒業すると言われています。そのほとんどは、学校で初めてキリスト教に出会った人たちです。日本のキリスト教人口が100万人ほどであることを考え合わせると、キリスト教学校の働きが日本伝道にとっていかに大きな可能性を秘めているかがよく分かります。学校礼拝や聖書の授業を通して福音に出会うことが、子どもたちの生涯にわたって豊かに実を結んでいます。このかけがえない務めのために、これからもキリスト教学校の建学の精神を担う教師が、ぜひとも必要です。

東京神学大学では、神学の研鑽と並行して教職課程を履修し、中学校・高等学校での宗教科の教育職員免許状(一種・専修)を取得することができます。聖書科・宗教科教師(教務教師)として学校に遣わされる場合はもちろん、牧師として教会に仕える場合でも、付属幼稚園やこども園の園長、近隣のキリスト教学校の非常勤講師となるよう求められることは少なくありません。その際に、この免許状が資格要件として有効に用いられます。これまでに教育職員免許状を取得した卒業生の多くは、教会とキリスト教学校との良い協力関係を築き、両方の場において伝道、牧会、教育に貢献してきました。キリスト教学校や教師の働きについて学びを深めるための課外プログラムも、豊富に用意されています。経験豊かな講師陣により、福音信仰に立つキリスト教教育を学んでみませんか。

| 教職課程

教職課程の学びは、「絶対にやり遂げる」という入学前に決めた覚悟を、何度も思い起こす日々でした。編入学前から教職課程は大変だと聞いており、覚悟のうえで進学を決めたものの、履修すべき科目数の多さや課題の量に、想像以上の忙しさを感じたことも少なくありませんでした。ただ、そうした一つ一つの授業や課題に向き合ってきた経験のすべてが意味あるものであり、今、教育の現場に立つうえで確かに生きていることを実感しています。特に教師陣の姿からは、多くのことを学び、そうした先生方のあり方は、働きの中で折に触れて思い返されます。伝道者育成の東神大で神学を学びつつ、教職課程を履修できた経験は、私の教育実践の根幹となっています。

2024年東京神学大学大学院修了
聖隷クリストファー小学校教諭
菊池 麻祐



神学研修志望

東京神学大学では、伝道献身者としての召命を与えられた方だけでなく、信徒として教会により深くお仕えするという召命が与えられた方も、「神学研修志望」という枠で、神学の学びをすることができます。

神学研修志望の学生は、伝道献身志望の学生と同様の科目を履修しますが、学部までの学びとなり、大学院へ進むことはできません。しかし、在学中に伝道献身の召命が与えられ、必要な手続きを経て、伝道献身志望枠への変更が認められた場合には、大学院へ進むことができます。

神学研修志望枠での学びは、伝道献身志望の学生と共に机を並べて学び、召命共同体の中で過ごすことができるという意味で、大きな恵みです。教会のために、信徒としてより深くお仕えしたいという思いをお持ちの方は、ぜひ、神学研修志望での受験をお考えください。

「あー、こんなことも知らずに役員とかやっていたんだ」。神学研修志望で2年間学んだ感想です。教理や信仰告白に関して、教会史や組織神学を体系的に学んで、はっきりしたことがたくさんありました。試験やレポートで言葉にしてみても初めて、わかっていなかったことに気づかされました。またギリシャ語やヒブール語を学んで、少しですが原語で聖書が読めるようになり、聖書の豊かさを深く味わえるようになりました。一生の宝物だと思います。

2026年神学部神学科卒業
田中 英俊



LEARNING

東京神学大学の学び

四つの学びの分野

神学に欠かせない四つの領域をバランスよく学ぶ

神学は、ギリシャ語ではテオロギアといいます。神(テオス)についての言語・学問(ロゴス)という意味です。しかし、神学は人間の知恵に基づいて神を認識する学問ではありません。神ご自身がイエス・キリストを通して自らを啓示されました。この出来事なしに、私たちは神を知ることはできません。このような神の啓示を前提として、それを謙虚に受け止め、神の言葉に真摯に耳を傾げるところから神学は出発します。

キリスト教の歴史を通して、神学はいろいろな仕方で展開されてきました。現代神学においては、聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学という四つの研究領域のもとで神学という学問が営まれています。東京神学大学では、これらの四領域をバランスよく学べるよう、カリキュラムが組まれています。

聖書は人間の言葉に表された神の言葉です。神学はいつでも聖書の言葉に聞くことを土台にします。聖書神学は、聖書テキストが本来どのような歴史の中で何を告げようとしていたのかを明らかにしながら、私たち自身の聖書解釈を吟味するための学問分野です。

聖書神学

BIBLICAL THEOLOGY

歴史神学

HISTORICAL THEOLOGY

歴史神学は、キリスト教会と教会の教え(教理)の歴史を学びます。ギリシャ語やラテン語、また現代の諸言語で書かれた史料を読み解き、史料が書かれた歴史や出来事の相互関係、文化の脈絡を探ることで、何が起き、それにどのような意味があるのかが明らかになっていきます。

四つの
学びの分野

組織神学は、キリスト教の信仰内容を現代の文脈に即して捉え直し、理解を深めていく学問で、「教義学」・「倫理学」・「弁証学」からなります。伝道者に必要なことは、統合的な信仰の深い見識と、それに裏付けられた確信です。組織神学はまた教会の自己吟味として実践神学に論理的土台を提供します。

組織神学

SYSTEMATIC THEOLOGY

実践神学

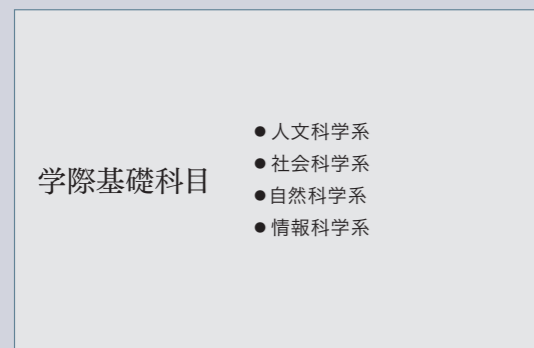
PRACTICAL THEOLOGY

牧師の務めは、神様の実践に参加させていただくことです。神様の実践、すなわち人間が神様の道具として用いられるために、「説教学」・「礼拝学」・「牧会学」・「キリスト教教育学」を学びます。神学諸科の一つの伝道学として統合する働きするのが実践神学です。

学びの流れ

学部 1・2年次

神学校での学びは、キリスト教信仰および聖書についての初歩的な知識の修得からスタートします。学際基礎科目では、多彩な講師陣が学びを支えます。また、神学の学びに欠かせない英語やドイツ語の基礎力も養います。留学生を対象に日本語の授業も開講されています。



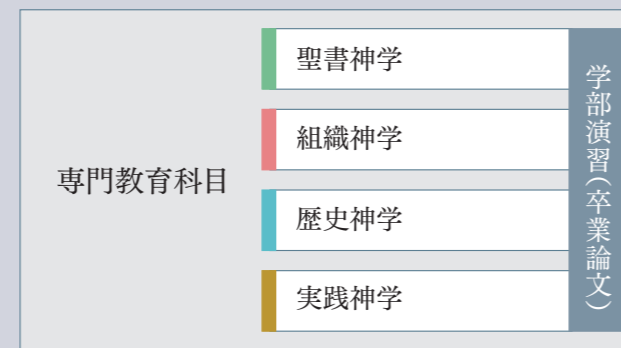
神学基礎科目

現代語科目

教職課程科目 本学では、中学校教諭一種免許状(宗教)・高等学校教諭一種免許状(宗教)を取得することができます。

学部 3・4年次

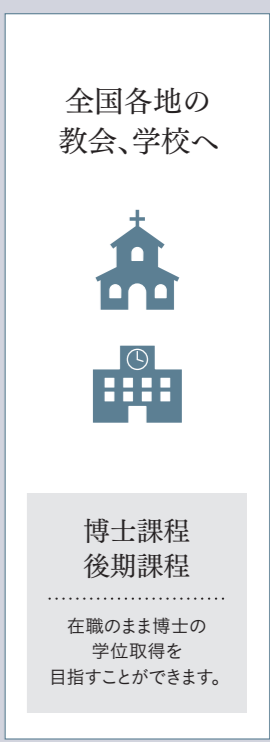
専門教育科目の履修を通して、聖書神学・組織神学・歴史神学・実践神学の四分野を徹底的に学びます。特定の分野に偏ることなく幅広い知識が修得できるようカリキュラムが組まれています。また、神学書の講読を通して、語学力と神学的思考の更なる向上を図ります。最終学年では卒業論文を執筆し、博士課程前期課程に進むための備えがなされます。



卒業

博士課程前期課程

博士課程前期課程の授業は、専門的な知識を深めるために講義形式で行なわれるものと、主体的に神学する能力を養うために演習形式で行なわれるもの、その両者を組み合わせられたものがあります。さらに、神学校での学びの集大成として、修士論文を作成します。修士論文提出後は、実践神学研修課程において、実践に関わる極めて具体的な諸課題・諸問題についての取り組み方を学ぶことで、伝道者としての職務に必要な実践的な知識をも身につけます。



FACULTY

教員紹介

- ① 主な経歴
 - ② 研究テーマ
 - ③ 担当授業の紹介
- … 聖書神学
 - … 組織神学
 - … 歴史神学
 - … 実践神学



詳しくは
ホームページから



なかの みおる
中野 実 教授

聖書

- ① 1987年東神大大学院修了。1994年米プリンストン神学校修士課程修了(Th.M.)。2000年米クレアモント大学院大学修士課程修了(Ph.D.)。日本基督教団正教師。2001年に着任、現在、教授。
- ② 今取り組んでいる主な研究テーマは、「主の祈り」と「ヘブライ書」の積義的研究です。どちらの場合も、キリスト教の母体である第二神殿時代ユダヤ教の文脈にしっかり位置づけて理解することを心がけています。

③ 担当クラスの中でも特に力を入れているのは、「ギリシア語Ⅰ、Ⅱ」のクラスです。新約聖書時代のギリシア語をしっかり身につけることによって、私たちの新約聖書の読み方、理解は驚くほど豊かにされると思います。



みやざき かおる
宮崎 薫 常勤講師

聖書

- ① 2013年東神大大学院修了。2021年東神大大学院博士課程後期課程単位取得満期退学、2024年東神大論文博士學位取得、博士(神学)。日本基督教団正教師。2024年に着任、現在、常勤講師。
- ② おもにディアスポラ文学やイスラエル12部族の歴史の変遷を研究しながら、旧約聖書の文学的／歴史的記述の関係性、そこに関わる周辺諸大國(特にエジプトとペルシア)からの影響や変化を考察しています。

③ 学部「ヒブル語Ⅰ、Ⅱ」は、履修しやすいように今年度から大学院との並行授業となりました。最初は違和感があっても、学ぶほどに奥深さを知る聖書原語です。1年後には旧約原典講読のクラスでヨセフ物語を読む幸いを共有しましょう。



やまぐち のりお
山口 希生 特任准教授

聖書

- ① 2011年英University of St Andrews 神学学士(Honours)、2015年同大学より新約聖書学で(Ph.D.)取得。日本同盟基督教団正教師。2025年に着任、現在、特任准教授。
- ② パウロの終末論と教会形成との関係について、教会史において切迫した終末論を強調すると、地に足の着いた教会形成が疎かになる事例がしばしばありましたが、パウロは如何にしてそのような陥穽を避けようとしたのかを考察しています。

③ 「新約聖書学部演習」で、卒業論文の作成指導をしていますが、新約聖書が書かれた時代の歴史的背景を深く学ぶために、中間時代の歴史や文学を学び、そのうえで新約聖書文書についての論文作成に入っています。



たなか ひかる
田中 光 教授

聖書

- ① 2008年東神大大学院修了。2013年加トロント大学ウイクリフカレッジ修士課程修了(Th.M.)。2018年東神大より博士号取得(Th.D.)。日本基督教団正教師。2015年に着任、現在、教授。
- ② 現在の主な研究テーマは詩編の様々な側面からの研究です(雑誌「季刊教会」に連載中)。他に、詩編とイザヤ書の注解書の執筆も、長期的な研究内容です。

③ 現在「旧約聖書積義」の授業を担当していますが、この授業では、説教に不可欠な聖書解釈のメソッドを学びます。聖書テキストを原文で読んで解釈する方法は勿論ですが、それだけでなく、積義をどう説教に生かしていくかという解釈学的視点も大切にして教えています。



かわの かつや
河野 克也 特任准教授

聖書

- ① 1991年東京聖書学院卒。1992年神戸ルーテル神学校卒(M.Div.)。1994年米合同メノナイト聖書神学校卒(M.A.)。1997年米デューク大学神学部卒(Th.M.)。2004年米サザン・メソジスト大学大学院博士課程満期退学。日本ホーリネス教団正教師。2023年に着任、現在、特任准教授。
- ② 初期ユダヤ教の背景に関心を持ち、黙示思想の背景からパウロ神学の解明を目指しているほか、物語批評や間テクニシティなど文学批評の方法論を適用した新約聖書解釈にも取り組んでいます。

③ 「新約聖書積義」では、新約各文書が書かれた具体的なコンテキストを尊重しつつ各文書の固有なメッセージを読み取ることに重点を置きます。ギリシア語テキストから聖書的説教に至る積義の道筋を丁寧に辿ることを心がけましょう。



やだ ようこ
矢田 洋子 特任常勤講師

聖書

- ① 2011年東神大大学院修了(神学修士)。2017年東神大大学院博士課程後期課程単位取得満期退学。日本基督教団正教師。2022年に着任、現在、特任常勤講師。
- ② “黙示”として特別視されがちなダニエル書について、旧約の伝統の流れの中で産み出された書物と見なすことは可能か、そうであればどのように読めるかを、原語の言い回しに注目して探っています。

③ 「旧約聖書学部演習」では、ヒブル語の単語に注目し、その用例を旧約全体にわたって実際に確かめることで、翻訳では失われがちな旧約聖書の豊かさを共に味わいます。



こうじろ まさみ
神代 真砂実 教授

組織

- ① 1987年東神大大学院修了。英アバディーン大学神学部博士課程修了(哲学博士)。日本基督教団正教師。1998年に着任、現在、教授・学長。
- ② 着任以来、「信じる」ことの研究を継続しています。信仰と人間関係における一般的な信頼との間の関係を考えています。特に信仰が信頼をどのように支えているのか・支えられるのかに関心があります。

③ 大学院の「組織神学演習」ではカール・バルトの『教会教義学』を読んでいます。20年以上をかけて通読していますが、和解論の半ばまで来ています。やさしくはないですが、知的にも信仰的にも刺激が一杯です。



いん さん
李 倫尚 助教

組織

- ① 2014年韓国・長老会神学大学院修了。2019年東神大大学院修了。2022年からドイツに留学し、独チュービンゲン大学博士課程在籍中。2026年東神大大学院博士課程後期課程単位取得退学。日本基督教団正教師。2026年に着任、現在、助教。
- ② 「救いの現実性としての神との交わり」をテーマに、W. パネンベルクの理解を踏まえつつ、その限界を克服するために、物語理論(特にポール・リクールおよびモニカ・フルダーニック)を用いて、神との交わりについて探究しています。

③ 「独語神学書講読・組織Ⅰ、Ⅱ」を担当しています。「ドイツ語は難しい」と感じる人が多いと思います。しかし、ドイツ語でしか読み取れない文脈や内容があります。だから、ドイツ語で読むことは、実はとても楽しく面白いです。



い いだ あおく
飯田 仰 助教

歴史

- ① 2006年米Gordon-Conwell Theological Seminary修了(Th.M.)。2016年東神大大学院修了。2023年東神大大学院博士課程後期課程単位取得満期退学。日本同盟基督教団正教師。2023年に着任、現在、助教。
- ② カッパドキア三教父の一人カイサリアのパシレイオスの神学思想と、宗教改革者ジャン・カルヴァンの古代教父理解について研究を続けています。

③ 「教会史Ⅲ」の授業では宗教改革に纏わる内容を一次史料と二次史料を用いながら探究していきます。また、「英語ⅠB」の授業ではアリストマー・マクグラスと共に読み、テキストに関連する内容を聖書に照らし合わせながら学んでいます。



こいずみ けん
小泉 健 教授

実践

- ① 1997年東神大大学院修了。2007年独ハイデルベルク大学神学部博士課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。2008年に着任、現在、教授。
- ② 説教の言葉について取り組んでいます。聖書の言葉に基づきつつ、主イエスの現臨を担う言葉があり、わたしたちの語りかける言葉があります。重層的な言葉の関わり合いを解きほぐしていきたいと考えています。

③ 大学院の「説教演習Ⅰ、Ⅱ」では、説教を準備するための一つ一つの過程を身につけていくことはもちろんですが、そもそも説教とは何かという根源的な問いに繰り返し立ち返ります。



すだ たかく
須田 拓 教授

組織

- ① 2000年東神大大学院修了。2004年～2009年英ケンブリッジ大学留学。2013年東神大大学院博士課程後期課程修了(神学博士)。日本基督教団正教師。2013年に着任、現在、教授。
- ② 神が三位一体であることが神学全体にどのように関係するか、また自由教会という形を生み出した17世紀ピューリタン神学の現代の教会における意義を研究しています。

③ 「組織神学Ⅰ」では、聖書全体から私たちが何をどのように信じているのかを論理的に説明することを試みています。神はどのようなお方か、教会とは何か、救いとは何かなどを深くとらえ、喜びをもって福音を伝える者とされたいと願っています。



ほんじょう こうた
本城 仰太 准教授

歴史

- ① 2010年東神大大学院修了。2018年東神大論文博士學位取得、博士(神学)。日本基督教団正教師。2020年に着任、現在、准教授。
- ② 使徒信条をはじめとする信条や信仰告白が歴史的にどのように成立していったのか、またどのように教会で受容されてきたのか、そして現代においてどのように生かしていったらいいのかを研究しています。

③ 大学院の「教理史演習」では、ペリカン著「クレド」を毎回2～3ページページずつ、多くの史料と共に読みながら、信条や信仰告白の成立史・受容史を学び、ディスカッションをしています。



ウェイん じゃんせん
Wayne Jansen 教授

実践

- ① 1990年米Western Theological Seminary, (D.Min./教会学博士)。米国改革派教会正教師(現在、日本基督教団への宣教師)。2002年に着任、現在、教授。
- ② 初期の宣教師たちは福音をもたらしましたが、彼らが宣べ伝えた福音は自分たちの文化的規範と結びついていました。研究テーマは、よりキリスト中心の教会を築くために多様な人々と協働する必要性を認識することに関わっています。

③ 「臨床牧会教育」は、受講生から大変高く評価されています。ケア施設の入居者の方々とお話しすることを通して、どのように牧会を行なうかを学ぶだけでなく、自分自身についてもより深く学ぶことができます。



ながやま みち
長山 道 教授

実践

- ① 1998年東大大学院修了(文学修士)。2002年東神大大学院修了(神学修士)。独ボン大学神学部博士課程留学。日本基督教団正教師。2013年着任、現在、教授。
- ② 信仰が人格形成にどのように関わるのか、キリスト教教育の意義と役割を研究しています。キリスト教倫理を福音として捉えるマルティン・ケーラーの神学を研究しています。

③ 「キリスト教教育特研」では、キリスト教教育に関わる古典や現代の著作を皆で読み、日本の教会の状況を踏まえながら活発に議論しています。お互いの意見を聞き合うことで刺激を受け、知見が広がります。

CAMPUS LIFE

キャンパスライフ

礼拝



神に出会い・祈り・奉仕へと歩み出す礼拝



チャペル礼拝は毎授業日10:05～10:25、全学生・教員が集い、説教者として教員や大学院生が立てられ、聖書を通し御言葉を聞き賛美します。それぞれの課題、学内行事や社会・世界情勢等が祈られ、皆が今このとき、神に出会い聖霊によって触れていただき、悔い改め、赦しと喜びに満ち新たにされます。私は青森から上京し学生寮で生活しつつ、寮礼拝・チャペル礼拝・主日礼拝で神の恵みによる恐れと戒めと励ましを受けて信仰や召命が確かにされています。

2026年度 博士課程前期課程
1年 吉岡 治彦



教会生活



「神学生」としての教会生活



東京神学大学の神学生は、遣わされた教会で礼拝し、指導を受けます。私は教会学校や青年会、聖歌隊での奉仕のほか、祈禱会で祈りを導かせていただいています。それぞれの場で多くの事を学び、主にある深い交わりが与えられ感謝しています。夏期伝道実習や神学校日には様々な教会に派遣されます。神学生としての教会生活は恵みです。「教会に仕えるために学んでいる」ことを実感し、確信することができるのです。

2026年度 博士課程前期課程
1年 佐藤 正幸



多様な 教会的背景



自分の福音理解がますます豊かになる体験



東神大は合同神学校(ユニオン・セミナリー)として、超教派主義的特色を持っています。現在も様々な教団教派から学生が集まり、良い刺激を受け合いながら学びに励んでいます。私は日本ホーリネス教団の牧師として働きながら、平日は東神大で勉強を継続しています。卒業した神学校とは異なる教派の教育機関で勉強できたことは、自分の福音理解がますます豊かになる体験でした。今後も東神大で得た糧を生かして、牧会の働きを続けて行きたいと思っています。

2026年度 博士課程前期課程
2年 照内 幸代



サポート制度 ①

教会実習委員会

- ① 教会生活に悩みが生じたとき、また新しく出席する教会を探すとき、仲立ちをします。
- ② 夏期伝道実習の責任を負い、事前や事後の指導を行います。
- ③ 神学校日礼拝に神学生を迎えてくださる教会に派遣の手配をします。

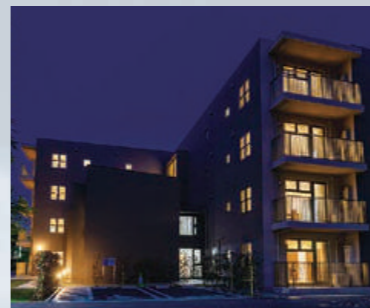
東京神学大学は大学であると同時に「神学校」で、信仰と志を同じくする召命共同体です。

神学校ならではのキャンパスライフの特徴を、神学生の声と共に紹介します。

学生寮



学生寮は召命共同体



主によって建てられ、全国の諸教会の皆様によって支えられている学生寮は、神学生の生活の場、学びの場、同時に訓練の場である召命共同体です。寮生は自分の個性を大切に、個人の生活スタイルを楽しみながら神学の学びを重ねていくと同時に、将来の伝道者、信仰者として、教会や地域に奉仕していくための社会性も身につけていきます。学生寮は主を愛し、他の寮生のことも大切に思うことが求められる、そのような場です。

2026年度 博士課程前期課程
2年 井上 博志



クラス交流



神様の導きを共に感じられる関係性



東京神学大学のクラスには、年代や地域、教会、歩んできた背景の異なる学生が集っています。世代を超えた交わりを通して、多様な視点や経験に触れ、自身の考えが問い直され、視野が広がられていきます。また、クラスでは神様から与えられた互いのタラントが生かされ、それぞれが与えられた役割を担っています。期末期間には励まし合い、日常においても祈りをもって支え合う、神様の導きを共に感じられる関係性が育まれています。

2026年度 博士課程前期課程
1年 河野 安奈



留学生



言語や文化の境界を越えた一つの家族



東京神学大学での経験は、その全てが予期せぬ出来事や学びの連続ですが、それゆえ、自分の本来持つ個性が十分輝かせる最も充実した時間でもあるに違いありません。留学生である自分のアイデンティティーが、目覚めてから就寝のときまでずっと日本語で授業や説教を聞いたり、文章を読み書きしたり、先生方や友人と会話をする中、知らず知らずのうちに、日本人との境界線が崩れ、いつの間にかみんなが一つになり、周りの人々と同じアイデンティティー、つまりクリスチャンという新しいアイデンティティーが生じてくるのが実感できることが、このキャンパスの生活の中で起こります。さらに、勉強に集中できるよう、奨学金が与えられることや、先輩後輩との助け合い、日本基督教団の教会からの祈りや愛や支えとを豊かに受けながら、弱い自分を整えていく訓練を通して、新しい被造物になっていく体験がここで行なわれると思います。

2026年度 博士課程前期課程
1年 崔 允娥



サポート制度 ②

パストラルケアセンター

パストラルケアセンターは、どなたでも歓迎され、考えや気持ちを安心して打ち明けることができる場所であり、共有される内容は守秘されます。この場所は東京神学大学のコミュニティのためにあり、学生たちがスピリチュアルな歩みにおいて耳を傾けられ、励ましを受けることができる場です。

CAMPUS CALENDAR

キャンパスカレンダー



運動会



青年の集い



全学修養会



卒業・修了式

- ◆ 全学懇談会
- ◆ 学生総会
- ◆ 運動会
- ◆ キリスト教学校伝道協議会

- ◆ 夏期伝道実習
- ◆ 壮行祈禱会
- ◆ 入試説明会

- ◆ 修士論文提出締切
- ◆ 後期始業式
- ◆ 日本伝道を担う青年の集い

- ◆ 全学修養会
- ◆ 神学校生活懇談会
- ◆ 入学者選抜

- ◆ 教職セミナー
- ◆ 全学祈禱会
- ◆ 学生総会

- ◆ 入学者選抜
- ◆ 卒業礼拝
- ◆ 卒業・修了式

4 APR.

- ◆ 入学式
- ◆ 前期始業式
- ◆ 神学校全学集会
- ◆ クラス別懇談会
- ◆ 初年次教育1

5 MAY

6 JUN.

- ◆ 日本伝道フォーラム
- ◆ 全学祈禱会
- ◆ 博士課程後期課程研究発表会

7 JUL.

8 AUG.

- ◆ 夏期伝道実習

9 SEP.

10 OCT.

- ◆ 夏期伝道実習報告会
- ◆ 初年次教育2
- ◆ 神学校日

11 NOV.

12 DEC.

- ◆ オープンキャンパス
- ◆ クリスマス礼拝
- ◆ クリスマス愛餐会

1 JAN.

2 FEB.

- ◆ 入学者選抜
- ◆ 大学院博士課程前期課程・博士課程後期課程内部入学者選抜
- ◆ アジア伝道研修旅行(隔年)

3 MAR.



入学式



夏期伝道実習

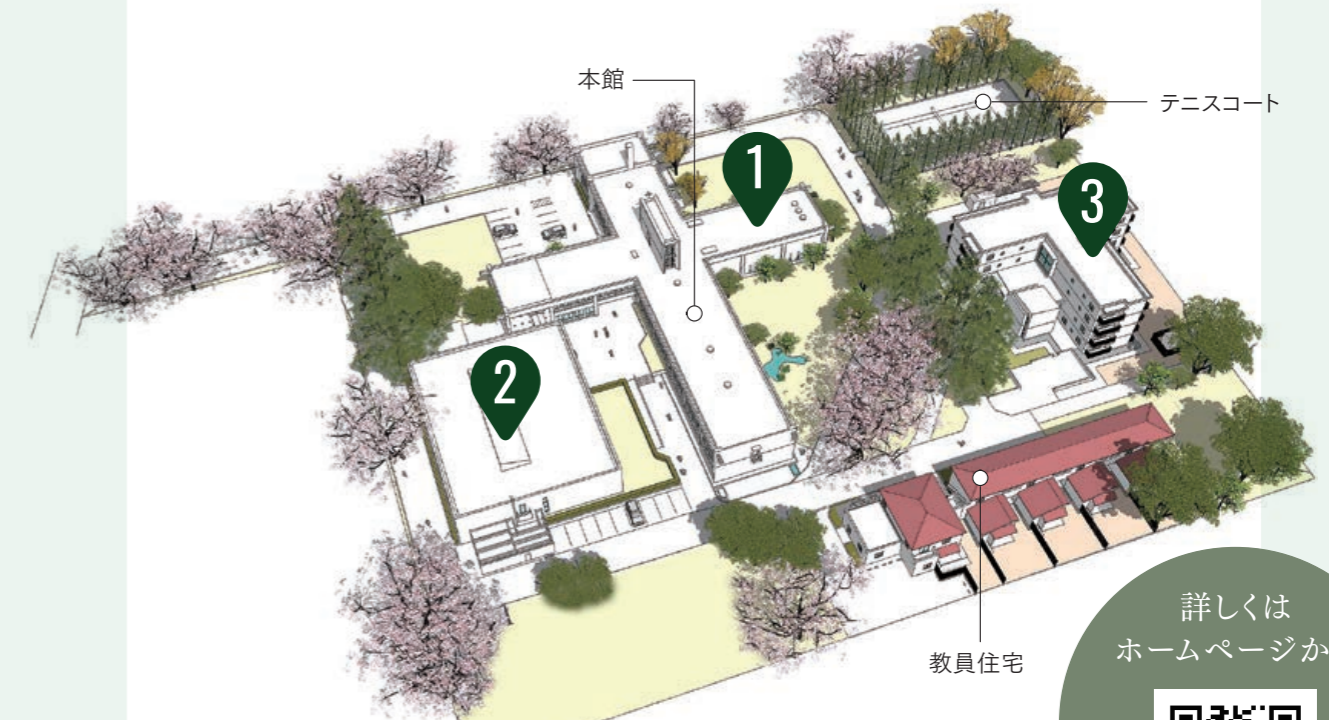


クリスマス愛餐会

CAMPUS MAP

キャンパスマップ

東京神学大学は都心を少し離れた武蔵野の自然の中にあり、神学生は緑豊かで閑静なキャンパスで学んでいます。国際基督教大学・ルーテル学院大学と敷地を接しており、それらの大学の図書館等を利用することができます。



本館

テニスコート

教員住宅

詳しくは
ホームページから



2 図書館

東京神学大学の図書館には、和書51,500点、洋書81,000点、計132,500点ものキリスト教神学専門書が所蔵されています。プロテスタント神学を先導してきた英語圏・ドイツ語圏の洋書も可能な限り備えられており、その数は和書よりも多いほどです。神学の専門雑誌は、英語圏・ドイツ語圏、種々合わせると1,000点以上になります。神学を研鑽するうえで最良の研究環境と言っても過言ではなく、キリスト教の情報センターとして、学外の研究者にも多く利用されています。



3 学生寮

学生の約半数が寮で共同生活をしており、運営は寮生が担っています。毎朝行なわれる寮拝や日々の生活を通して交わりが深まります。



本学では、経済的事情で召命への応答が妨げられないよう、また、学業を続けられなくなるがないよう、奨学金制度を設けています。全国の教会やキリスト教学校、信徒の方々からささげられる献金が、奨学金という形で神学生の学びを支えてくださっています。

■ 主な学内奨学金

名称	内容	過去5年間の平均支給額
入学時奨学金	学部の新入生の前期授業料を補助する奨学金	270,000円
一般奨学金	在学生の前期・後期授業料を補助する奨学金	半期 120,000円
指定奨学金	全国の教会・個人から寄せられた献金を財源として学生の生活費等を補助する奨学金	年間 240,000円

※上記のほか、緊急に一時金の必要になった者に対する貸与奨学金の制度があります。

■ 奨学金受給モデルケース

Aさん (20代/寮生) の場合



東神大と教会からの奨学金のおかげで、入学初年度の学費を納めることができました。また、生活費を抑えるため、学生寮に住んでいます。

■ 学費(年額)		■ 生活費(月額)	
収入	支出	収入	支出
入学時奨学金 270,000円	授業料 540,000円	指定奨学金 25,000円	寮費 18,000円
一般奨学金(後期) 120,000円		アルバイト 55,000円	食費 25,000円
所属教会からの奨学金 120,000円			交通費 6,000円
仕送り 30,000円			通信費 4,000円
			その他 20,000円
			貯金 7,000円

Bさん (30代/下宿生) の場合



大学の近くで一人暮らしをしています。社会人時代の貯金切り崩しが最小限で済むよう、日本学生支援機構奨学金の貸与を受けています。

■ 学費(年額)		■ 生活費(月額)	
収入	支出	収入	支出
一般奨学金(前期) 120,000円	授業料 540,000円	指定奨学金 30,000円	住居費 72,000円
一般奨学金(後期) 120,000円		日本学生支援機構奨学金 64,000円	食費 30,000円
貯金切り崩し 300,000円		アルバイト 60,000円	交通費 10,000円
			通信費 8,000円
			その他 20,000円
			貯金 14,000円

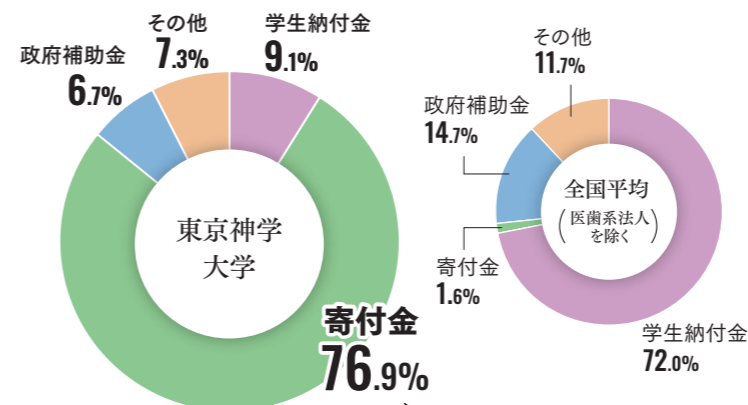
Cさん (60代/自宅生) の場合



自宅から通学しています。奨学金をいただいているので、経済的な不安を感じることなく、神学校生活を送ることができています。

■ 学費(年額)		■ 生活費(月額)	
収入	支出	収入	支出
一般奨学金(前期) 120,000円	授業料 540,000円	指定奨学金 15,000円	食費 20,000円
一般奨学金(後期) 120,000円		年金 55,000円	交通費 18,000円
貯金切り崩し 300,000円			通信費 7,000円
			その他 25,000円

■ 私立大学経常収入の比較



支援拡大に向けてのお願い

東京神学大学のために祈ってください。将来、伝道者となる献身者を送ってください。東京神学大学を献金で支えてください。

財源の半分以上が献金によるものです。

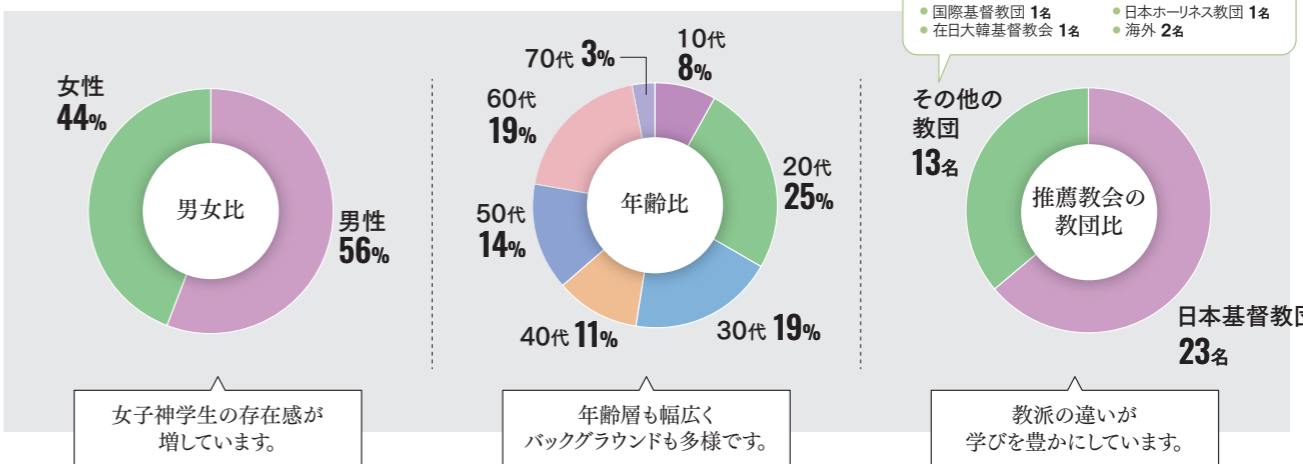
※2024年度は大口献金が多数あり、例年よりも寄付金の比率が高くなっています。

東京神学大学では、全国24地区、39地域で後援会が組織され、教会・信徒の方々へ献金によるお支えをお願いし、毎年約600教会、5,000名を超えるの方々にご賛同いただいています。また、関連諸団体やキリスト教学校からも献金がささげられています。

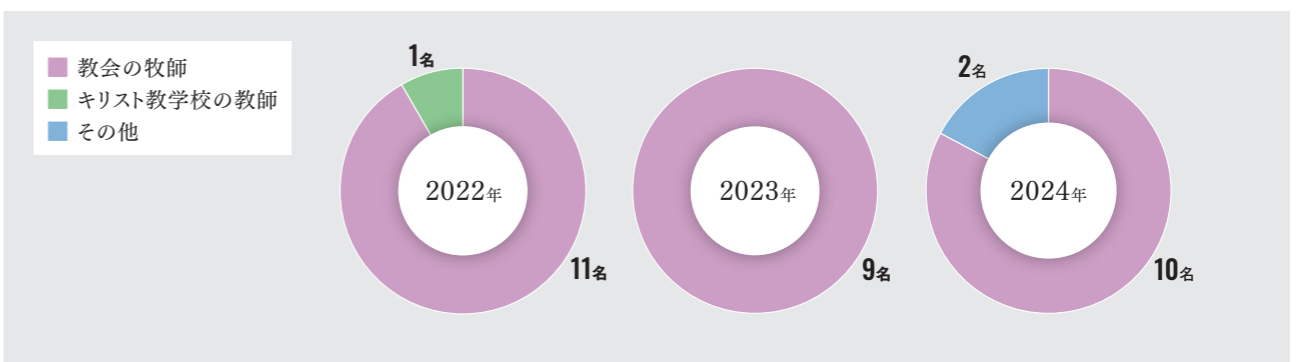
一般的な大学は収入の大部分が学生納付金で賄われますが、東京神学大学の場合、教育研究費・奨学金等の財源の半分以上を献金が占め、財政が支えられています。そのような東京神学大学を支えるために、1960年代から後援会活動が始まり、現在では全国で39の後援会が活動しています。神学校日を中心に、全国で後援会主催の公開講演会が開かれています。教員による講演や大学の現状の説明が行なわれ、全国の信徒の方々との交わりのときとなっています。

※東京神学大学「2024年度決算」および「令和7年版今日の私学財政」より

■ 2025年度 学部生の状況 (2025年5月1日現在)



■ 卒業生の赴任状況 大学院博士課程前期課程修了生は、全国の教会やキリスト教学校等の任地へ赴きます。



ACCESS

JR中央線 武蔵境駅

🚆 南口から乗車、約8分

- ②番のりば:国際基督教大学ゆき **境93**
- ③番のりば:狛江駅北口ゆき 他 **境91**
- ④番のりば:吉祥寺駅ゆき 他 **吉01**

JR中央線 三鷹駅

🚆 南口から乗車、約15分

- ⑤番のりば:国際基督教大学ゆき 他 **鷹51**

京王線 調布駅

🚆 北口から乗車、約20分

- ⑭番のりば:武蔵境駅南口ゆき 他 **境91**
- ⑭番のりば:三鷹駅ゆき **鷹51**

小田急線 狛江駅

🚆 北口から乗車、約45分

- ①番のりば:武蔵境駅南口ゆき **境91**



📍 停留所「西野」下車、徒歩約5分



東京神学大学の校章は、ギリシャ語で神学を意味するテオロギア (theologia) という単語をデザインしたものです。テオロギアとは、テオス (theos : 神) についてのロゴス (logos : 言語・学問) という意味です。



大学認証評価

東京神学大学は、2019年度に公益財団法人大学基準協会の大学認証評価を受審し、同協会の定める大学基準に適合していると認定されました。

東京神學大學

〒181-0015 東京都三鷹市大沢 3-10-30
TEL : 0422-32-4185 FAX : 0422-33-0667
E-mail : tuts@tuts.ac.jp
URL : <https://www.tuts.ac.jp/>

